Copyright © 2011 Kanda Gaigo Alumni Association (KGAA)
All rights reserved.

第17回　対談　佐野隆治会長×川田雄基ブリティッシュヒルズ名誉館長

和の精神が実現させた福島の英国

～神田外語とともに歩んできた人々の証言～

2010年11月4日、ブリティッシュヒルズのエグゼクティブラウンジで、佐野隆治会長と川田雄基ブリティッシュヒルズ名誉館長の対談が行われました。運命的な出会い、オープン当初の出来事、そして文化を学ぶ意味。お二人の話は尽きることなく、広がっていきました。

川田館長：会長に最初にお会いしたのは平成5（1993）年でしたね。僕はまだ三菱にいて、「神田外語学院の理事長が英国に詳しい人を探している」っていうから神田にお伺いした。すると、英国の村を作るっていう話。図面があって、模型まである。でも、それを拝見しても、正直言って半信半疑でした。

佐野会長：地図と模型、図面だけじゃ何にも分からないから、まず現場を見てくださいって言いましたね。白河の現地まで行ってもらった。それで、気に入ったら、一緒にやりましょうとお伝えしていました。

川田館長：行ってみて、それは驚きましたよ。当時はまだマナーハウスの外側しか出来ていなかったけれど、礎石の積み方を見ればこれは本物だと、本気だと分かりました。イギリスの村なんて創れるはずないだろうと思っていたのに、気づくと工事現場で、「その石は使うから捨てるなぁ！」なんて叫んでいました（笑）。ミイラとりがミイラになってしまいましたね（笑）。

佐野会長：それで、意気投合して、じゃあやろうとなった。川田さんなら一緒にやれると思った。嬉しかったですね。

川田館長：私は、さしずめ城代家老。殿の留守を預かる家臣です。大石内蔵助ですな。

佐野会長：僕はどうしても東京にいなきゃならないから。川田さんとはお話をしているうちに、その知識の量に驚いた。日本とイギリス、世界の歴史と文化に通じている。こりゃ、素晴らしい方に出会えたと実感しましたよ。知識と教養があるこの人にこそ、ここの館長になってほしいと思ったんです。

川田館長：ドラフト会議で僕の名前が引っかかったわけですな（笑）。

佐野会長：イギリスをテーマにした研修施設ですから、館長はイギリスと日本の歴史と文化に通じている川田さんしかいなかったわけですよ。

Copyright © 2011 Kanda Gaigo Alumni Association (KGAA)
All rights reserved.

第17回 対談 佐野隆治会長×川田雄基ブリティッシュヒルズ名誉館長

和の精神が実現させた福島の英国

～神田外語とともに歩んできた人々の証言～

本当の疑似体験じゃないと意味がない
偽物はつまんないよね。飽きるよすぐに

佐野会長：正直言って、僕らにはイギリス文化の深いところは分からない。だから、川田さんにお任せでしたね。ポートレイトギャラリーを作るときも、「なるほど、そんなもんかい」と納得してお願いした。

川田館長：私にすればフリーランドをいただいたわけです。

佐野会長：どうにか建物はできた。でも、思い入れをいれなきゃならない。こだわりとでも言うのかな。オープンした頃は経営的には厳しかったけど、何もかもが初めてで、おもしろい時代でもあった。バトラーもいたし。

川田館長：まさに西部開拓時代でしたね。まぁ、これを言っては身も蓋もないですが、こんなバラバラに建物を建てなければ、わざわざマントを着て、雨の中を宿泊棟からゴツゴツとした石畳を歩く必要もないわけですよ（笑）。でも、それじゃあ、つまんねぇだろう、っていうのが、会長の発想でしたね。

佐野会長：やっぱりね、本当の疑似体験じゃないと意味がない。偽物はつまんないよね。飽きるよすぐに。それに学ぶ意味がない。明治維新のときだって、鹿鳴館を作って、ダンスを踊って、なんとなく欧米を理解していった。知らない文化に慣れるには、場がなきゃダメなんですよ。ブリティッシュヒルズのような場があれば、なんとなく外国を感じられますからね。鹿鳴館の時代の日本人は、洋服を着て、ダンスを踊って外国に慣れていっても、内面にある日本人としての精神性は変わらないんです。

川田館長：確かに場は大切ですよね。それも本物の場。ペンキ塗りのお化け屋敷じゃ困る。今の日本は、すべてがペンキ塗りのプレハブです。でも、ここには本物があります。本物があることを我々は誇りにしなければならない。

佐野会長：文化っていうのは、蓄積するのにどうしても時間がかかるね。オープンして15年経つけど、まだ積み重なっていない。川田さんの知識をどんどん吸収してくれる人がもっといるといいんだけどな。

川田館長：文化は、「ボタンを押せば出来上がり」とはいきませんからね。（2/4）

Copyright © 2011 Kanda Gaigo Alumni Association (KGAA)
All rights reserved.

第17回 対談 佐野隆治会長×川田雄基ブリティッシュヒルズ名誉館長

和の精神が実現させた福島の英国

～神田外語とともに歩んできた人々の証言～

イギリスの歴史だ、ギリシャ神話だと言っても、日本の文化を知らなければ、根無し草でしかない

佐野会長：日本の文化を知っている人こそ、海外の文化を説明できると思っています。対比ですよね。イギリスの素晴らしいところと、日本の素晴らしいところ。ここは似ている。ここは違う。そういう話ができないとダメですよ。一方的に、海外の文化はすごいばかりじゃダメです。

川田さんは武士なんですよ。武士の尊厳を持っているから、海外のよさも分かるし、イギリスはここが素晴らしいと言える。「アメリカはこんなにすごい、日本はダメだ」って言う人がいる。外国は素晴らしくて、日本はダメだという考え。ブリティッシュヒルズには、そういった偏った考えの人は必要ない。

川田館長：日本人の価値観が変化したんです。日本の教育が本当におかしくなったのは、終戦直後でした。神話と歴史の本、つまりに修身の本に、すべて墨を塗らされた。天照大神（あまてらすおおみかみ）なんて真っ黒になって読めやしない。GHQ（※2）が日本の神話と歴史を黒く塗りつぶした。

佐野会長：覚えていますよ。終戦直後、僕は小学校5年生でしたからね。

川田館長：うちの母が、その教科書を見て、「これで日本もアメリカに支配されている南太平洋の島々と同じになってしまう」と嘆いていたのを覚えています。アメリカは、自分たちの言うこと聞いてりゃ間違いないって言う考えです。吉田茂は抵抗した。あの人は、英国で大使を務めていた人だから。

佐野会長：僕は中学生のときに、中国の歴史にはまった。日大三中のときの漢文の先生が中国の歴史をたくさん話してくれて、日本のことも理解できるようになった。貸本屋で、吉川英治の『三国志』を夢中になって読んだね。

川田館長：まずは西洋よりも自分たちの国や言葉、アジアの文化と歴史に理解を深める。三菱商事にいた頃、若い連中に「川田さん、どうしたら英語がしゃべれるようになりますか？」って聞かれて、「まずは、その日本語を直しなさい」と厳しく指導して、ずいぶんと嫌われましたね（笑）。でも、自分の生まれた国の歴史も神話も知らずに、いきなりイギリスの歴史だ、ギリシャ神話だと言っても、そんなの根無し草でしかないですよ。（3/4）

2. GHQ（General Headquarters）第二次世界大戦後に日本の占領政策に当たった連合国軍最高司令官総司令部

Copyright © 2011 Kanda Gaigo Alumni Association (KGAA)
All rights reserved.

第17回　対談　佐野隆治会長×川田雄基ブリティッシュヒルズ名誉館長

和の精神が実現させた福島の英国

～神田外語とともに歩んできた人々の証言～

マナーハウスは、ご先祖様が出ないと一人前じゃない 死んでも、お化けになって、見守っていきたいですね

川田館長：僕はブリティッシュヒルズにいるからって、英国万歳ばかりじゃない。大英博物館だって、世界中からお宝を持って来ちゃった証なんですよ。

佐野会長：ここのお客様の多くはイギリスに憧れてらっしゃる。でも、時には「イギリスの歴史にもこういう側面があるんですよ」と伝えることも大切。川田さんにはそれができる。いい所も悪い所もぜんぶ分かっていて、その両方を魅力的に伝えられる。なかなかできることじゃない。

川田館長：万歳ばっかりじゃないからリピーターにもなっていただける。裏と表があって、奥が深くて、もっと知りたいから、もう一度来たくなる。表面を説明するだけであれば、京都の観光坊主みたいなもんです。それじゃあ、つまらない。私は、運命的な出会いで、ご迷惑なぐらい、ここにのめり込んじゃった。僕は文化の語り部として、ここに込められている意味を伝えていきたいですね。

佐野会長：だから、川田さんが元気なうちに、自分の後継者みたいな人を鍛えないといけない。そういうのがいないと続かないんですよ。川田さんの半分でも、持っている人がいなくちゃ。ただ、人との出会いっていうのは、運ですよね。ブリティッシュヒルズには人を呼び込む雰囲気はある。でも、新聞広告を打ったところでやって来てくれるわけじゃない。まぁ、川田さんのように、ここにのめり込んでくれる人には、そうそう出会えないですよ。

川田館長：光栄の極みです。ところで、会長、マナーハウスというのは、ご先祖様のお化けが出るぐらいじゃないと一人前じゃないんですよ。僕は死んでも、お化けになって、ブリティッシュヒルズを見守っていきたいですね。場所も、プールから2階へと上がっていく裏階段のところと決めています。

佐野会長：川田さん、それいいですね、ぜひ、お願いしますよ（笑）。いつまでも、ここを見守ってやってください。

川田館長：お化けになった私に、みなさんが会いに来てくだされば嬉しいですね（笑）。（4/4）